

司 会	開会、資料確認 会議成立の報告
会 長	それでは、本日の次第に沿って進めてまいります。報告事項①「地域密着型施設運営等の状況」について事務局より説明をお願いします。
事務局	報告事項①「地域密着型施設運営等の状況」を説明。
会 長	ありがとうございました。それでは、皆様から質問等、ございましたらお願いいたします。
委 員	先ほどの介護保険運営協議会で、平成29年、平成30年、令和になって地域密着型介護サービスが一旦減って、また増えたという話が出た時に、地域密着型通所介護の事業所の1つが広域型に変わったという話があったと思います。広域型に変わったためと説明されたのですが、今回の資料ではどこに記載されていますか。
事務局	今回、地域密着型の受給者数の増員について、広域型のサービスに移行したと申し上げましたが、こちらは地域密着型通所介護の事業所が、通常規模の通所介護に移行したというところになり、ここには記載していません。
委 員	第1圏域にあるエクスプリオルは、馬場記念病院でしょうか。利用者25人、空きが4人なのに、待機者が6人というのは、サービスを受けるだけの職員が不足しているので4人の空きがあると、そういう理解でいいのでしょうか。
事務局	利用状況について、施設に確認しました。エクスプリオルは、令和2年4月1日に開設してまだ間もない施設ということで、4月末の時点で、入所申込はあっても、病状や病院施設の都合、人員の都合などから入所決定ができなかったため、4床が空床になっていたという状況です。
委 員	施設関係者に話を聞くと、4月オープンで、ちょうどコロナの関係もあり一気にできないと。人員が足りないのではなく、もう大丈夫、とのことでした。
会 長	ご説明、ありがとうございました。
委 員	圏域3と圏域4のグループホームのぞみ野とひかりの園グループホームで、待機者がそれぞれ9人と16人とあります。現在、どのように待機をしているのか、把握していたら教えてください。

事務局	今、どういう状況かというところは、把握をできていない状況です。
委員	第2圏域のサニーヴィラひまわりの空き状況が2人とありますが、これは、空いているので、どこかから紹介するといったことはできないのですか。
事務局	サニーヴィラひまわりは、施設の種類の小規模多機能型居宅介護という施設で、建物があって、そこに入居するというよりは、通いと訪問と短期のお泊りを組み合わせて使う施設になりますので、他のグループホームや、地域密着型介護老人福祉施設とは形態が違う施設になっております。
委員	現実的にはお泊りデイなのです。デイと泊りです。ですから、そこで空き状況が0というのはありえにくいのです。ですから、小規模多機能型居宅介護の場合はそういう面で言うと余裕があるから、今日はお通夜があるから頼みますと、そういう時など肝心の時に空いていないと意味がないところがあるので、1つくらい空いているほうが、逆に言えば、地域にとっては使いやすいのではないのでしょうか。これが、ずっと空きがないと、それは逆に小規模多機能型居宅介護じゃなくなってしまうのです。
会長	<p>サービスの種別が違うということや、特徴について委員から補足をいただきました。ありがとうございます。その他、ご意見等ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、報告事項②に移らせていただきます。報告事項②「地域密着型施設整備の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	報告事項②「地域密着型施設整備の進捗状況について」を説明
会長	ありがとうございます。それでは、委員の皆様より、ご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。
委員	4つのすべての圏域において、グループホームが1つ入ったのですね。そして、今度新しく第4圏域に地域密着型介護老人福祉施設のしもみやができることによって、すべての圏域に地域密着型の特別養護老人ホームが出来るということですね。すべての圏域にグループホームができて、そして、2つの圏域にいわゆる小規模多機能型居宅介護ができたという理解でいいのですよね。ただ、第2圏域だけは地域密着型の特別養護老人ホームが2つあり、残りの圏域は1つずつですということですが、これは次の第8期介護保険計画において、どういうふうに考えていったらいいのかということ、第2回目、第3回目の会議でおっしゃられると思うので、その辺のところを逆に教えていただければ、ありがたいと思います。これで十分な

事務局	<p>のか、だいたいのイメージをどういうふうに考えておられるのか。</p> <p>現在の地域密着型介護老人福祉施設は、今年4月にオープンしたところと、来年3月にオープンするところがありますので、その運営について、どのような状況になっているか、今の時点ではわからないところもあります。各圏域に1つずつ建ったということがあり、それと、アンケートのほうで「施設はつくらずに、保険料が上がらないように」という結果が出ていますので、一応、地域密着型介護老人福祉施設については第8期計画に入れなくてもいいのではないかとこの考えは持っています。その辺はまた、運営協議会で決めていただくような形にはなるのですが、ただ、認知症の方については増えていくということがありますので、グループホームが必要ではないかという考えは持っています。その辺はまた提案していきたいですし、協議会のほうで揉んでいただきたいなどは考えております。</p>
委員	<p>それが先ほど、グループホーム、小規模多機能型居宅介護とおっしゃったところにひっかかってくるころなのですね。小規模多機能型居宅介護はものすごく大事だと思いますが、経営的な運営でなかなか難しいところがある。ですから今回、悠人会がサンガーデンハウスを開設するというので、そういう大きな法人がやっていただくというのは、ある面ではありがたいと思いますが、先ほど、おっしゃったことは費用のことですね。箱ものはあまり造らないほうがいいのか、ただ、そうは言いながらも、通常規模の介護老人福祉施設ではなくて、地域密着型介護老人福祉施設を建てることによって、これは地域にとってありがたいのかなと思っ</p> <p>ているのです。</p> <p>ただ、気になっていたのは、地域密着型介護老人福祉施設と言いながら、通常規模の介護老人福祉施設の横に建っている。通常規模の介護老人福祉施設の横にあって、壁1枚で地域密着型介護老人福祉施設があったら、これが地域密着型介護老人福祉施設なのかと言われた時に、本当の意味の地域密着型は小さな範囲のところに建てることだと思っていたのですが、ただ、小さな範囲で運営しているところもあるのだけでも、和泉市の場合は結構、地域密着型介護老人福祉施設が通常規模の介護老人福祉施設の横に建っているところがあるので、これもしょうがないのかなと思っ</p> <p>ながら見ていたのですが。</p> <p>グループホームに関しては、認知症絡みで言えば、認知症のこれからの増え方を考えてみたら、もう少しあってもいいかも知れないと思います。ただ、そういう時に、先ほどの運営協議会でのアンケートの中で、働く人自体の確保がなかなか難しくなっている。特に、認知症の場合は専門性が問われると思うのです。介護者は介護者だけでも、やはり、ある程度専門性が問われます。介護福祉士の資格を取得すれば、いきなりグループホームで働けるかと言ったら、実は難しく、ある程度経験が必要です。建てるのであれば、少しずつ建てていかれたほうが安全かなと思っ</p> <p>ながら聞かせていただきました。</p>

<p>会 長</p>	<p>貴重な意見をいただきました。その他、ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは報告事項②につきましては、ここまでとさせていただきます。その他、資料の全般に関わること、疑問に感じていること等何かご意見はございませんでしょうか。限られた時間での質疑となっておりますので、事務局からの説明で不明な点、もう少し詳しく説明を聞きたい等ありましたら、事務局へ直接確認いただけますようお願いいたします。本議題については、これをもちまして終了とさせていただきます。</p> <p>次に、その他として、事務局、何かありますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度の会議開催予定の説明</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。また、日程、予定の確保のご協力をお願いいたします。本日の地域密着型サービス運営委員会の議題はすべてを終了しました。委員の皆様、長時間ありがとうございました。この後の進行は事務局お願いします。</p>
<p>司 会</p>	<p>閉会</p>